科目名称	在宅看護概論	学年学期	単位数	時間数
		1学年後期	1	15
担当教員	大北米香	授業に関わる実務経験	■ 有（看護師 ） □ 無	

【1】 授業概要

時代の変化に対応した在宅看護を展開するために、在宅看護の歴史や在宅看護が必要とされる社会的な背景を踏まえ、在宅看護の目的・対象・活動の場・活動方法の特徴及び在宅看護の役割と機能について理解する。家族を含む対象者の健康とその人らしい生活を支える在宅看護について考える。

【2】 学習目標

1. 在宅看護の目的と特性について説明できる。
2. 日本の在宅看護の変遷とその社会背景について説明できる。
3. 施設内看護と在宅看護の違いについて説明できる。
4. 在宅看護の対象者の特徴とその支援について説明できる。
5. 在宅看護の対象者としての家族について理解し、家族への支援について説明できる。
6. 看護の継続性の意義とその方法について説明できる。
7. 在宅療養を支える制度と社会資源の概要について説明できる。
8. 在宅療養を支える訪問看護制度と訪問看護ステーションの機能と役割について説明できる。
9. 家族を含む対象者のQOLや倫理を考慮した在宅看護について、自己の考えを具体的に述べることができる。

【3】 第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

■ 1. 生活者としての人間の理解
■ 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
■ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
□ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
■ 5. 多職種との連携・協働
■ 6. 地域医療の理解と生活の支援
■ 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	在宅看護の目的と役割・暮らしの基盤としての地域	講義
2	在宅看護の対象・看護の対象としての家族の理解	講義
3	在宅看護の対象と生活支援	講義
4	訪問看護の実際	講義
5	地域における暮らしを支える看護	講義
6	在宅看護に関わる社会資源	講義
7	訪問看護の制度	講義
8	筆記試験・まとめ	

【5】 評価方法

筆記試験85%，提出課題15%で総合的に評価する。

【6】 教科書

川原加代子：系統看護学講座　専門分野　在宅看護論1 地域・在宅看護の基盤（第7版）　医学書院　2022

【7】 参考書

臺 有桂 他編：ナーシング・グラフィカ地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア（第7版）　メディカ出版 2022

上別府圭子：系統看護学講座　別巻　家族看護学（第1版）　医学書院　2022

池西静江編：看護学生スタディガイド2023（第9版）　照林社　2022

【8】 受講生へのメッセージ

時代と共に変化し続けている在宅看護とそれを支える社会資源、家族を含む対象者の健康とその人らしい生活を支える在宅看護の基本的な考え方について学びます。